エコアクション21

2014年度　環境活動レポート

太陽セランド　株式会社

本社内 産廃営業部

運用期間：2014年4月～2015年3月

発行日：2015年7月17日

目次

目次……1

1.環境方針……2

2.事業概要……3

3. EA21 実施体制…… 4

4.中期環境目標及び当年度の実績…… 5

5.環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容…… 6

6.環境関連法規の違反、訴訟等の有無……7

7.代表者による見直しの結果……8

1. 環境方針

■ 環境理念

我々太陽セランド株式会社、本社内産廃営業部は設立から今日に至るまで、医療分野での事業活動を長年に渡る実績と実践を活かし「健全経営・人材育成・良品量産・顧客への奉仕」をモットーに取り組んで参りました。
近年環境に対する配慮や取組みが重要になっていく中、当社も地球環境問題を考え自主的、積極的に以下の環境方針を守ります。

■ 行動指針

1. 事業に伴う環境負荷低減を図る為、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量および総排水量を抑制し、またグリーン購入や顧客サービスなど有益となる取組みを行うため以下の通り活動方針を定め、汚染の予防及び地球環境保全に取り組む。さらにコンプライアンスの実践、環境マネジメントシステムの継続的改善により、社員一人一人が自覚を持ちながら、循環型社会の構築、地域社会とのより一層の信頼関係の構築を目指す。

   ① 太陽セランド株式会社、本社内産廃営業部の事務所活動において、年間の電気使用量を抑え、活動から出る様々な廃棄物を減らす為、3R の推進やグリーン購入推進を行い環境負荷の削減に取り組む。
   ② 運搬業務の際に排出される CO_2 を抑える為、燃料使用量削減の取組みを行う。
   ③ 対象範囲の事業活動に伴い、顧客サービスの一環である産廃に関係した勉強会の実施や廃棄物排出時に使用する容器またはビニール袋等製品の提供をおこない、環境配慮に取組んだ事業活動に努める。
   また以上の活動から顧客の声を取入れ、顧客満足を目指し、環境経営に繋がる仕組みを確立する。
   ④ 年度及び中期の環境目標を定め、定期的に見直しながら継続性を持った活動を進める。
   ⑤ 事業活動・製品(ペール缶など)・サービスに関わる環境保全の継続的改善および環境汚染の未然防止について努め、企業の社会的責任を遂行します。

2. 各関連法規や環境への要求事項を遵守し、環境保全に努める。

3. この環境方針を全社員によく理解させるとともに、社外にも公表する。

制定日 2015 年 6 月 30 日
太陽セランド株式会社
本社内産廃営業部
EA21 代表者（常務）

土橋敏也

2. 事業概要

(1)　事業者名及び代表者名

太陽セランド株式会社　本社内産廃営業部　代表者　土橋　敏也　（役職：執行役員常務）

(2)　所在地

〒826-0042　福岡県田川市大字川宮 1200 番地

(3)　設立年月日

2011 年 4 月 1 日 太陽セランド株式会社を分社化（※分社内容に関しては、弊社ホームページ沿革より参照できます。）

(4)　資本金

1,000 万円

(5)　従業員数

太陽セランド株式会社　本社フロア内 62 名（うち本社内産廃営業部　11 名）　※2015 年 6 月現在

(6)　事業内容

・特別管理産業廃棄物の収集運搬業務（主として感染性廃棄物）

・産業廃棄物収集運搬業務

・事業系一般廃棄物(北九州市)収集運搬業務

(7)　事業規模

活動規模	単位	2012 年度	2013 年度	2014 年度
収集運搬量（産廃）	t	1,445	1,475	1,488
収集運搬量（事業系一廃）	t	1,567	1,601	1,523
売上高（産廃営業部）	千円	225,327	232,004	233,474

(8)　事業年度

4 月 1 日　～　翌年 3 月 31 日

(9)　環境管理責任者氏名及び連絡先

責任者：藤田　幸治（産廃課課長）

連絡先：TEL　0947-44-1847　　FAX：　0947-44-5805

URL：　http://www.taiyoseland.co.jp　　E-mail：　fujita@taiyoseland.co.jp

(10)　認証・登録範囲

太陽セランド株式会社の本社内産廃営業部のみで取得

※病院リネングループは、1 年後（2016 年度に認証範囲に拡大する予定）

（11） 廃棄物処理業の許可に関する事項

特別管理産業廃棄物収集運搬業			許可項目（事業の範囲）												その他		
都道府県 政令都市	許可番号	許可年月日 有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん（ダスト類）	感染性廃棄物	廃PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	廃石綿等	許可の条件	積替保管	
																有	無
福岡県	04050158724	H23.4.1 H28.3.31								●					―		●
佐賀県	04151158724	H23.4.1 H28.3.31								●					―		●
大分県	04458158724	H23.4.1 H28.3.31								●					―		●

産業廃棄物収集運搬業			許可項目（事業の範囲）																				その他		
都道府県 政令都市	許可番号	許可年月日 有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん（ダスト類）	以上廃棄物	許可の条件	積替保管	
																								有	無
福岡県	04000158724	H23.4.1 H28.3.31		●	●	●	●	●						●	●	●							―		●
佐賀県	04101158724	H23.4.1 H28.3.31		●	●	●	●	●						●	●	●							―		●
大分県	04408158724	H23.4.1 H28.3.31		●	●	●	●	●						●	●	●							―		●

一般廃棄物収集運搬業			許可項目（事業の範囲）	その他		
都道府県 政令都市	許可番号	許可年月日 有効年月日	A類（ふん尿を除く一般廃棄物）	許可の条件	積替保管	
					有	無
北九州市	北九一廃　第170号	H27.4.1 H29.3.31	●	―		●

(12)　運搬車両の種類と台数に関する事項

分類	車体の形状	台数	最大積載量
産業廃棄物収集運搬車両	保冷車	4台	3,300 ～ 3,700ｋｇ
	塵芥車	2台	2,950 ～ 3,350ｋｇ
その他の車両	バン	2台	400ｋｇ
	普通自動車	1台	―
合　計		9台	―

(13)　受託した産業廃棄物の処理量

分類	廃棄物の種類	2012年度処理量	2013年度処理量	2014年度処理量
収集運搬	感染性廃棄物	1,325	1,359	1,374
	廃プラスチック等	106	105	102
	ガラスくず及び陶磁器くず等	10	9	9
	金属くず	0.7	0.4	0.4
	廃油	0.7	0.6	0.8
	廃酸	0.4	0.4	0.2
	廃アルカリ	2	1	2
	汚泥	0.3	0	0
合　計		1,445	1,475	1,488

※単位：トン

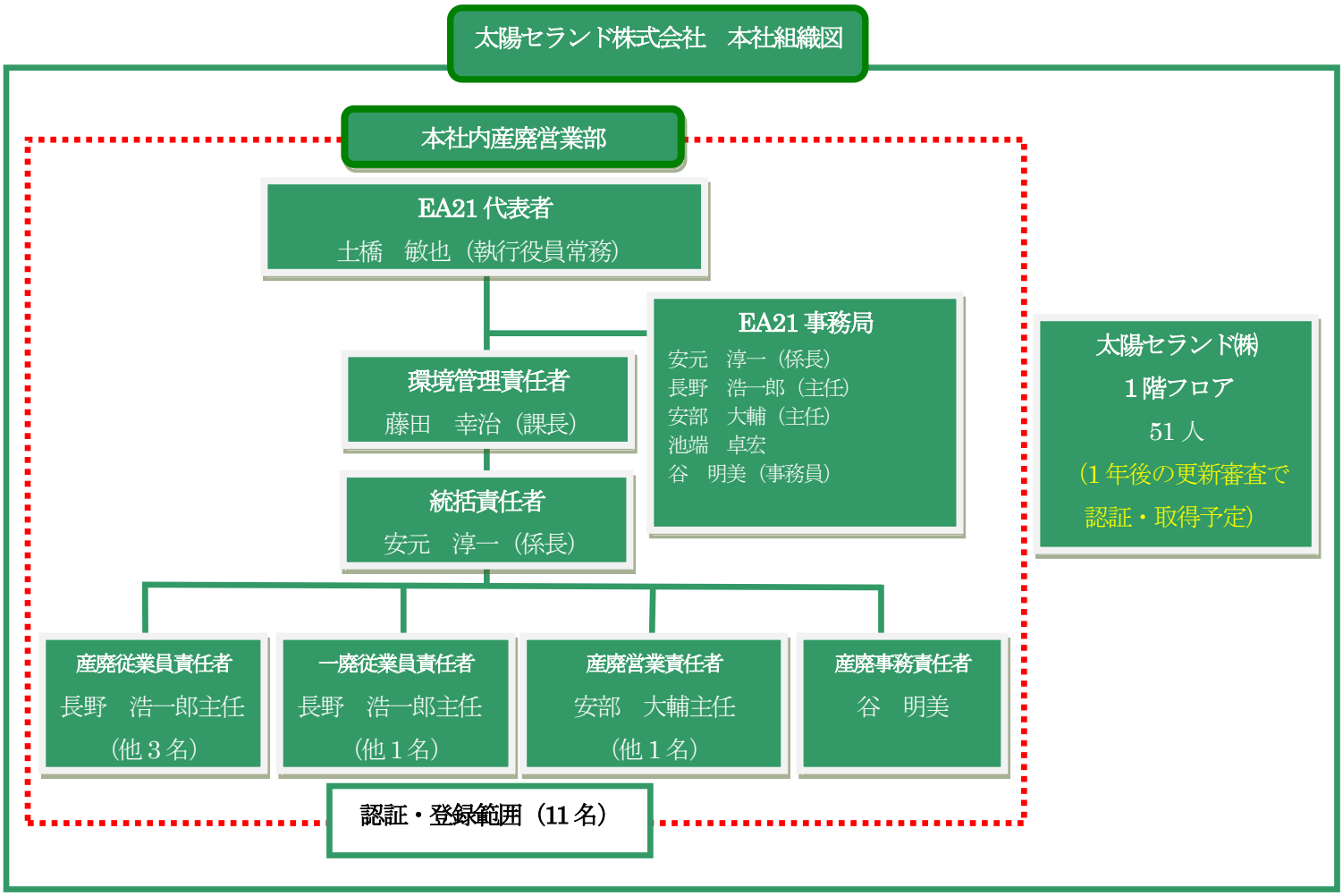
分類	廃棄物の種類	2012年度処理量	2013年度処理量	2014年度処理量
収集運搬（事業系一廃）	A類（ふん尿を除く一般廃棄物）	1,567	1,601	1,523

※単位：トン

(14)　収集運搬の処理料金

産業廃棄物の収集運搬委託料金については、廃棄物の種類・荷姿・数量・重量・運搬の距離等によって異なりますので、当社までお問い合わせください。

3. EA21 実施体制



■役割分担表

名称	役割と権限
EA21 代表者	①　環境方針を定める。 ②　EA21 の運用と管理に不可欠な資源（人・物・技術）を用意する。 ③　管理責任者を任命する。 ④　環境目的・目標をレビュー及び改定をおこなう。 ⑤　登録範囲の環境目的及び目標、実行計画書を承認する。
環境管理責任者 （産廃課課長）	①　EA21 規格の要求事項に適合した環境管理システムを確立・実施・維持する。 ②　環境管理システムの実施を代表層に報告する。 ③　登録範囲の環境影響評価結果、法規制登録事項を代表者に報告する。 ④　管理職に対する教育・訓練の実施。 ⑤　環境関連情報の開示・回答の承認・代表者への報告。 ⑥　技術文書・記録類を承認する。 ⑦　目標及び活動計画書の立案。 ⑧　不適合に関する是正、予防処置の管理。
EA21 事務局(課員 5 名)	①　EA21 文書及び記録の作成・維持・管理（8 文書・7 記録）。 ②　法規制及びその他の要求事項の情報を入手し、適用されるかを判断し、登録事項を通知、記録する。 ③　従業員に対する教育、訓練の実施、または実施補助をおこなう。 ④　目標達成状況の管理。

4. 中期環境目標及び当年度の実績

環境目標	単位	2013年度	2014年度			2015年度	2016年度
		基準年度	目標	実績	判定	目標	目標
CO_2総排出量の削減（年0.3%）※1	t	166.4 t/年	165.9 t/年	170.94 t/年	×	再度目標数値の見直しを行い決定する。	再度目標数値の見直しを行い決定する。
電気使用量の削減（年 0.1%）	kW	134,739 kW/年	134,605 kW/年	160,893 kW/年	×	再度目標数値の見直しを行い決定する。	再度目標数値の見直しを行い決定する。
		—	151,684 kW/年				
燃料使用量の削減（年 0.2%）	ℓ	30,006 ℓ/年	29,946 ℓ/年	29,738 ℓ/年	○	29,886 ℓ/年	29,826 ℓ/年
社内の廃棄物総排出量の削減	t	—	3.342 t/年	4.047 t/年	×	再度目標数値の見直しを行い決定する。	再度目標数値の見直しを行い決定する。
			4.011 t/年				
グリーン購入の推進	品	1 品/年	1 品/年	1 品/年	○	1 品/年	1 品/年
廃棄物回収量の増大（前年対比の1%増）	t	1,475 t/年	1,490 t/年	1,490 t/年	○	1,505 t/年	1,520 t/年

○達成　×未達成　ー実績なし

※1 目標の電気使用量の削減について、事務所棟全ての電気使用量は管理されているので、本社内商発営業部として分割・管理することは出来ない。
※水の使用・排水において（トイレ・手洗い・お茶など）は浄化槽を設置しており、使用後は循環型再利用水として使用できる設備環境であるため、目標で「使用量削減」は掲げず、取組のみ実施する。
※PRTR 法対象化学物質を使用していない為、目標で「化学物質使用量削減」は掲げません。
※電力の CO2 実排出係数：0.584 kg-CO2/kWh

5. 環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容

環境目標	判定	取組内容	取組結果の評価と今後の取組内容
CO_2総排出量の削減（年0.3%）	×	—	一部目標に問題が生じ、結果未達成のまま終わってしまいました。2015年度は算出方法を再度見直し、確実に CO_2排出の削減に繋げて行けるしくみ作りをおこなってまいります。
電気使用量の削減	×	・エアコン温度の設定 ・PCの省電力設定 ・不要な照明の消灯 ・不要な電気の節電	設定した目標値に対し、実績値にかなりのズレが見られた為、目標値の見直しを行い、下期より半期目標値を変更し活動に取組んでまいりました。結果未達成でしたが、目標値に近い結果を出すことができましたので、来期は目標達成に繋がる仕組みを再構築し、活動に取組んでまいります。
燃料使用量の削減	○	・アイドリングストップ ・エコドライブの励行 ・イレギュラーの削減 ・走行ルートの見直し	課員の協力もあり年間目標を達成することができ、またエコな走行にも繋げることができました。2015年度も継続的に実施し、CO_2排出量の抑制に取組んでまいります。
廃棄物総排出量の削減	×	・裏紙使用の励行 ・ゴミ分別の励行 ・3R（循環型社会）の構築化	前年8月度に目標値に含めていない廃棄物が加わった為、目標値を下期より変更し、活動に取組んでまいりました。結果未達成となりましたが、来期は目標達成に取組んでまいります。
グリーン購入の推進	○	・グリーン購入の実施	社内に設置している全てのゴミ箱を統一する目的とし、新たにエコマークのついた環境に配慮した物を購入しました。今後もこの様な環境に配慮した物を前提にエコ活動に取組んでまいります。
廃棄物回収量の増大（前年対比の1%増）	○	・夏季、冬季連休時のルート作成 ・顧客サービスの実施 ・顧客先との意見交換 ・新規開拓の情報収集	廃棄物の排出時に使用される、指定容器またはビニール等製品の提供や顧客サービスの一環で廃棄物分別などの産廃に関係した勉強会の実施に取組み、環境経営に結び付く活動をおこなってきました。来期も顧客満足に繋がるものに活動に取組んでまいります。

○達成　×未達成　ー実績なし

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、過去３年間違反はありませんでした。
また関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去３年間ありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション２１に取り組み１年が経過しました。
業績については、産廃課員の努力で目標も達成、お客様から信頼されるよう積極的な提案活動をおこなった結果が業績向上に大きく繋がりました。

エコアクション２１の取り組みでは、初めて取り組む内容もあり環境方針の遵守に戸惑いながらのスタートとなりましたが、課員の日々の活動と協力により環境に対する認識と環境目標達成への意識は定着しております。
活動実施２年目を迎えるにあたり、ドライブレコーダーの導入によるエコドライブの徹底で燃料削減に成功し、社内のゴミ箱の入れ替えでグリーン購入を推進、お客様への勉強会実施と積極的な提案活動が廃棄物回収量の増加に繋がりました。

これらの目標が達成できた環境方針については更なる向上を目指し、目標が達成できなかった方針については原因の把握に合わせ活動内容の是正と目標値設定の見直しをおこない、すべての方針が達成できるよう社員一人一人が自覚を持ちながら環境保全に努め、循環型社会の構築に貢献し地域社会との信頼関係の構築を目指します。